



◆ 1月号の内容 ◆

- ・ 思いを形に・・・
- ・ しらネット.com
- ・ 学習のあしあと
- ・ 先進校の視察を終えて
- ・ 今月の目標
- ・ ほっぴ・すてっぴ・じゃんぴ
- ・ 1月の予定



思いを形に・・・



12月16日から22日まで、校内作品展がひらかれました。体育館には版画や工作など、子どもたちがめあてに向かって、思い思いに製作した作品が展示されました。

友だちの作品を鑑賞し、お互いのいいところを認め合う素敵な時間をもつことができました。

しらネット.com

『誰にでも起こりうる問題です。危機管理を！』

本校でも、6年生がサイバー犯罪防止教室を行っていますが、便利な道具であるインターネットに関連する事件が連日のように新聞紙上でも取り上げられ、件数も増えていきます。先日、県の校長会の研修「子どもたちのネット依存の現状」という講演会に参加してきました。国立病院機構久里浜医療センター院長の樋口進先生の講演でした。

ネット依存の7割～8割は中高生。でも年々低年齢化が進み、小学生の依存症患者も増加している。また、ネットがらみの問題として、女子の場合は、ラインやSNSの関係で人間関係上の問題を抱えたり、異性とのトラブルに巻き込まれたりするケースが多いとのこと。男子の場合は、ゲーム依存が圧倒的に多く、のめりこむことで昼夜が逆転し、家庭内暴力や不登校に進むということでした。こうしたことは、誰にでも起こりうる問題で、恐ろしいことに短期間で依存症に至ってしまうということでした。さらにネット依存のこわいのは、現代社会において、ネット環境のない状況が作られづらいということでした。このことは、単に問題となっているツールを取り上げるだけでは問題が解決しないということです。様々なところでネットにつながる環境が整備されていて、いろいろな機器でアクセスができてしまうということです。それだけに判断力の低い小学生は、保護者がしっかりと管理することが大切ということでした。

再三お伝えしているように、本校では、子ども同士のラインやメールでの連絡は禁止しています。もっと言えば、スマートフォンの所持も勧めていませんが、今持っているゲームでもネット環境にアクセスできるものがたくさんあります。年末年始を迎え、家族で過ごす時間も増えると思います。是非、各ご家庭でもこの問題について話し合ってみてください。上手に付き合うことが求められています。

(校長 持丸 隆一)

5・6・7組



1年生との交流会

1年生のお友だちと もっと仲良くなるために、交流会を開きました。司会やはじめの言葉など役割を決め、練習しました。当日は、ばくだんゲームや英語の歌をうたい、みんなで盛り上がりました。

1年生

大きな大きな だいこん！

かかえきれないぐらいとっても大きな大根を収穫し、子どもたちの顔がみんな笑顔になりました。家に持ち帰るだけでなく、調理員さんに届けました。豚肉と里いものおろし煮、みそ汁、つみれ汁、おでん、葉っぱはふりかけになって給食に登場しました。



2年生



やきいもは、おいしかったよ！

みんなで収穫したさつまいもを、地域の方にサポートしていただき、やきいもにしました。とろけるような食感と強い甘味に、子どもたちは大喜び！ 「はちみつをかけたみたい。」「今まで食べたやきいもの中で一番おいしい。」と言いながら、あっという間に食べ終わっていました。

3年生

泉の森公園へ行ってきました

社会科の昔調べの学習で泉の森公園へ行きました。民家園を見ながら昔の人の暮らしを学び、昔遊びを体験しました。話を聞いて驚くことがたくさんあり今後の学習への意欲となりそうです。実行委員やレク係を中心として遠足の計画をたてルールを守って楽しく遠足に行くことができました。



4年生



アイマスク体験を行いました

目の不自由な人たちを支援する団体であるアイメイトのみなさんに来ていただき、アイマスク体験を行いました。ペアになり、アイマスクをつける役と誘導する役を体験しました。目の不自由な人たちに対してどんな支援が必要なのか、いろいろ学ぶことができました。

5年生

JR東日本の出前授業を受けました

JR東日本鉄道会社の元車掌や元運転手など3名が来校されて、鉄道の情報ネットワークについて学習しました。切符からICカードへの変遷や情報量の違い、電車が止まった時の情報の伝達方法などを知り、驚きがたくさんありました！



6年生



調理実習

今までの家庭科の学習で身につけた力を生かして調理実習に取り組み、粉ふきいもやジャーマンポテトを作りました。準備や片付けも協力しながら素早くできるようになり、学習を積み重ねてきた成果を感じられる時間となりました。自分達で作った料理は格別の味。家庭科室中においしそうな良い匂いが広がりました。

先進校の視察を終えて。。。

11月20日(金)、21日(土)と、福井県の教育フォーラムに参加し、福井県の鳥羽小学校の授業と、福井の教育を研究している方々によるシンポジウムに参加してきました。視察の中で特に感じたことが2つあります。1つはあいさつ、給食、掃除など、当たり前のことをきちんと行う力が非常に高いということです。特に掃除は、縦割りグループで行われ、掃除の時間開始前の1分間、黙想をした後、全員が無言で掃除に取り組んでいました。(無言清掃と名付けられ、福井県の小学校では多くの学校で行われているそうです。トイレ清掃も子どもたちが行っていました。)日々の生活を気持ちの良いものにするあいさつや当番活動を自分たちで大切にしていこうという雰囲気は学校中から感じられ、そうした雰囲気が、めりはりのついた日々の学習へとつながっていることを感じました。2つ目は、家庭学習の定着です。宿題の量が多いのですが、その宿題をきちんとこなし、間違えたところの直しをすぐにやっているとのことでした。「大変で、嫌だという子どもはいないのですか?」と質問したところ、「初めはできない子どもが多くいました。でも、あいさつも掃除も、宿題も、定着するまで声をかけ続けました。」という答えが返ってきました。鳥羽小では、取り組み始めてから6年かかったそうです。福井県では学校と家庭の両方が、家庭学習の重要性を理解し、日々の宿題にきちんと取り組み、学習内容の定着を図っていこうとする風土があるようです。白根小では、本年度、学力向上のための取り組みとして、テストファイルを資料とした面談の持ち方や、授業参観後の懇談会で授業について説明する場づくりなどを始めました。家庭、地域、学校が連携して学力の向上を狙っていこうとする姿勢は間違っていないと、自信がもてた視察となりました。

(片山・杉本)

ほっぴ・すてっぴ・じゃんぴ

早いもので、今年もあとわずかとなりました。この一年多くの方たちと出会い、多くのことを学び、多くのご支援をいただきました。ありがとうございました。おかげさまで、子どもたちも心身ともに、一回りも二回りも大きくなり、これからの活躍がますます楽しみです。寒さも厳しくなります。体調管理をしっかりしていきたいです。良い年をお迎えください。
(佐藤・松永)

◆ 今月の目標 ◆

- 保健・・・体をきたえよう
清掃を時間内に終わらせよう
- 給食・・・感謝の気持ちをもって食事をしよう

